

2 プレクラス(初期指導教室)実施市町村

NO.	市町村名	事業名	実施形態	所管課	委託先	対象	人数	国籍	場所	カリキュラム	課題
1	名古屋市	初期日本語 集中教室	直営	教育委員 会指導室		全市、小中学生	定員15名×2 か所	国籍不問	名古屋市立宮前小 学校内及び名古屋 市立東海小学校内	【期間】年間を通して実施 【回数】3か月程度 【内容】初歩的な日本語、基本的な日本の学校生活習慣	4月、9月など学期初めに希望者が多いため、入級まで待機する児童生徒が出ている。
2	豊橋市	定住外国人 の子どもの就 学促成事業	委託	多文化共 生・国際 課	学校法人 カンティ ーニョ学園	原則学齢期にある本 市在住の就学支援 が必要な児童(小学 校1年から6年)	約40名(予定)	ブラジル、フィリ ピン	学校法人カン ティーニョ学園	【期間】2018年4月2日から2019年3月31日(8月全日と設置校休業日は実施しない) 【回数】210日程度(平日午後4時間程度) 【指導期間】概ね2か月 【カリキュラム、主な内容】 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業実施要領(Ⅱ 定住外国人の子供の就学促進 事業)に基づいた支援、市が別途指示する「子どもの指導記録」の作成に必要な生活指導、日 本語指導を市および市教育委員会との連携により実施。	委託先における事務処理の迅速化と日本語教師の安定的確保
	豊橋市	日本語初期 支援校「みら い」	直営	学校教育 課		市内中学校へ外国 (外国人学校含む) から編入した生徒 (中学校1年から3年)	必要がある生 徒全て(人数上 限なし)	ブラジル、フィリ ピン等	豊岡中学校	【期間】2か月 【実施回数】1日5単位時間(月から木)、合計160単位時間 ※金曜は在籍校に登校。 【カリキュラム、主な内容】 特別の教育課程を編成し、以下の内容を実施。 ・日本の学校生活のガイダンス ・日常生活やひらがな、カタカナなどの文字の読み書きの学習 ・長文の読み書きの学習 ・ブレイスメントテストを実施してつまづいている箇所を明確にしたうえでの数学、英語の学習 ・母国では未習の技能教科に関わる学習	・国籍、年齢、編入時期、人数等の予測が困難で、個別対応が必要となり、在 籍人数が大幅に増加した場合に十分な指導が行えなくなること ・学校で送迎が行えず、保護者による送迎または生徒が自力で通学する必要 があり、生徒にとって通学が負担になること
3	瀬戸市		直営			来日直後で瀬戸市 内小中学校に在籍 する外国にルーツの ある児童生徒	今年度は6名 (2018.12月時 点)	フィリピン、中国、 ブラジル、ペルー	原山小学校内	【実施期間】3週間毎日 原則保護者の送迎【内容】1日3時間 1時間目 日本語、2時間目 日本語 3時間目 ひらがな 終わったら、在籍校へ行く。基本的な日本語指導(「日本語学級1」 使用)、ひらがなの読み、学校生活への適応	原山小以外の学校の児童生徒の場合で、保護者が送迎ができない場合の実 施がむずかしい。
4	豊川市	豊川市こぎつ ね教室	直営	市民協働 国際課		豊川市内に住所を有 する外国にルーツの ある子ども。 プレクラス:市内の公 立の小中学校に通う 予定のもの	20人以内	ブラジル等	プリオビル5階	【実施期間】月～木曜 午後2時～6時 【内容】 学校入学のための初期指導(ひらがな、カタカナ、漢字の読み書き、九九等の簡単な計算など) 入室期間は6ヶ月程度(プレスクールについては3ヶ月程度)	プレスクール(小学校入学半年前の年長さん相当の子どもが対象)の児童に ついては、 自宅と教室間の送迎を保護者に依頼しているが、保護者の都合で欠席をして しまうことも多々あり、 継続的に指導ができない状況になってしまうこと。
										プレスクールと同様の内容で実施	
5	碧南市		委託	学校教育 課	特定非営 利法人ブラ ス・エデュ ケート	市内の小中学校の 児童生徒	50名(5教室 開催で1教室 は10名程度)	ブラジル、ペ ルー、ベトナムなど	児童クラブ	今年度は1学期2教室、2学期2教室、3学期1教室を実施している。 学期を1つの期間とし、月～金までの午前中の時間帯で実施している。1日午前中4時間日本 語指導を実施し、午後は各学校に戻り、学校生活にも慣れるようにしている。60日間のプログ ラムで計240時間で修了としている。 運営はノウハウをもつNPOに委託している。NPOのもつカリキュラムで実施している。日本語 の基本だけでなく、学校生活で困らないように、指導の中で生活習慣を指導している。	外国人の増加傾向が今後も続くと考えられるため、2教室開催では各学校か らの要望に応えきれない場合が出てくると思われる。特に、2学期は転入数 が多くなる傾向があり、3教室開催を視野に入れている。しかし、指導員・補助員 が不足する現状があるため、なかなか難しい。 現在は学校現場を熟知する元教員の方を中心に補助員を依頼しているが、 人員確保に対応するため募集方法も検討していきたい。
6	刈谷市		直営	学校教育 課		刈谷市内の幼児と小 中学生	随時	ブラジル、フィリ ピン	朝日小学校、かり がね小学校	・幼児については、年長児のみ。通級は10月から半年間。 ・設置校は2校。(朝日小学校、かりがね小学校) ・回数は相談。(指導者の空き状況による)	・外国人児童生徒の増加に伴う指導者の増員や設置校の増加
										プレスクールと同様の内容で実施	
7	豊田市	ことばの教室	直営	学校教育 課		市内小・中学校へ外国(外国人学校含 む)から編入した児 童生徒(小1～中3)	必要がある児 童生全て(人数 の上限を設け ていない)	ブラジル・フィリ ピン・中国	市内小学校内3か 所	【実施期間】3～4か月 【実施回数】1日5時間(月～金) 【カリキュラム、主な内容等】 ・1週間あたり、日本語10時間、文字8時間、算数・数学5時間、総合(図工・体育・習字・適応 等)2時間 ・学校の日課にあわせ、朝の会や帰りの会、給食、清掃等も行う ①日本語初期指導 学校生活に必要な最低限の日常会話ができる・ひらがな、カタカナ、小1～2年程度の漢字の 読み書きができる・1日の出来事を述べる程度の簡単な日記が書ける ②教科の補充 学年相応の基礎的な四則計算ができる ③学校生活への適応 当番の仕事(日直・給食・清掃等)ができる・1日の学校生活の流れがわかる・行事の意味が わかる	・国籍、年齢、編入時期等、全てにおいて個別対応が必要であり、対応が困難 であること ・何時、何人の編入があるか等の予測が立たず、運営が困難であること ・保護者の送迎を原則としているため、送迎者がいない場合は通うことができ ず、直接学校へ編入せざるを得ない場合があること ・専門的な知識をもった指導者の確保が困難なこと
8	安城市	日本語初期 指導教室(わか ば教室)	委託	学校教育 課	特定非営 利活動法人 ブラ ス・エデュ ケート	市内小中学校に通う 日本語初期指導が 必要な児童生徒	1教室10名程 度	ブラジル フィリ ピン 中国	安城中部小、二本 木小(5月～7月)、 祥南小(5月～9 月)、三河安城小 (10月～3月)	実施期間:平成30年5月1日～平成31年3月22日 実施回数:平日5授業時間(夏季休業中・冬季休業中・始業式・終業式・その他学校休業日等を 除く) カリキュラム:1～5時限、昼食(弁当)、掃除 主な内容:日本語の初期指導を行い、学級担任や友達とのコミュニケーション、学習言語の習 得などができるようにする。会場は、1学期は、市内で外国籍児童が多い3小学校を選定し、1 教室を使用して実施する。その後、2学期以降は、市内で日本語初期指導が必要な児童が多い 小学校で実施する。	・欠出席の扱い。 ・成績の取り扱い。 ・会場の選定。 ・送迎等が問題で通いたくても通えない児童生徒が出てしまう。

9	西尾市	早期適応教室	直営	学校教育課		地域は問わない。学齢期(小1～中3)対象	30～40人程度	ブラジル、フィリピン、インドネシアなど	西尾市立鶴城小学校内	・実施期間…3か月程度 ・実施回数…週3～4日 ・カリキュラム…独自に設定 ・主な内容…日本語(漢字・ひらがな・カタカナ)・社会科等日本に関わること。給食、掃除等の活動	・人数増加のための場所の確保 ・小・中学生の教室分け ・他言語に対応するための人員の確保
10	蒲郡市	蒲郡市日本語初期適応指導教室「きぼう」	直営	教育委員会 学校教育課		蒲郡市内に転入してきた小学生から中学生までの児童	なし	フィリピン、ペルー、ブラジル、中国	蒲郡市立塩津中学校	実施期間:3ヶ月 実施回数:月曜日、火曜日、水曜日、金曜日の週4回 8:45～12:00 内容:生活に必要な日本語会話、ひらがな・カタカナの読み書き、日本の生活習慣、学校生活でのルール	市内で最も外国人児童が多い地区の中学校で開催し、市内全域の児童がそこに通っている。 送り迎えは保護者に行ってもらうため、それをできないために通うことができない小学生がいる。
11	犬山市	多文化共生事業委託	委託	経済環境部観光交流課	特定非営利活動法人 シェイクハンズ	楽田子ども未来園	12人	ペルー、中国、フィリピン	犬山市立楽田子ども未来園	実施期間 : 原則として、6月初旬～3月20日の毎週金曜日 3時15分～4時15分(1時間) 回数 : 年間40～45回程度 専用カリキュラムはなし。愛知県ブレスクールマニュアル、他のブレスクール活動を参考に、円滑な園生活ができる、また、日本の小学校入学を前提とした日本語指導 ア 基本的なことばを覚える遊びやゲーム。 イ 体の部位を覚える手遊びや、フラッシュカードを利用し、語彙を増やす。 ウ 年長児を取り出し、読み書きを含めた日本語指導をし、入学までに、ひらがな清音のマスターを目指す。 エ 正しい姿勢、静座をしていられるよう等、基本的な生活習慣がつくよう、指導する。 オ 年長児に関しては、語彙調査と成育歴調査を実施、日本語でデータを作成し、子ども未来園と小学校に報告する。	1、ブレスクールとプレクラスを同時に進行し、時間枠を設けて、年長児に読み書き指導させているが、同室内なので、集中力を欠いてしまう場合が多い。 2、研修を受けてからの指導ではなく、ボランティア希望者で行っているの で、指導力の担保が難しい。 3、予算がほとんどないので、教材等の調達に苦心する。 4、一園(集中園)の中での開催なので、他園の子どもには、支援できない。
										ブレスクールと同様の内容で実施	
12	小牧市	にじっこ教室(小牧市日本語初期教室)	直営	学校教育課		市内小中学生	38名(H30.11月末現在)※30年度延べ人数	フィリピン、ブラジル	大城小学校内、適応指導教室カルミア内	学校開校期間中、9:00～15:00に時間割にあわせて	
13	知多市	知多市日本語初期指導教室'えがお'	直営	知多市教育委員会 学校教育課		知多市の小中学校に就学している外国人児童生徒	12人(平成30年11月1日現在)	ブラジル、ボリビア	知多市立つつじが丘小学校内	実施期間:3か月間～1学期間目安 カリキュラム: (公財)三重県国際交流財団 発行 「新版 いっしょにまなぼう みえこさんのにほんご れんしゅうちょう2」等をもとに知多市独自で作成した日本語初期指導カリキュラム 主な内容:学校生活適応指導(学校のきまり、あいさつ等) ひらがな、カタカナの読み書き、作文、数字の数え方等	・つつじが丘小学校区外の児童生徒の通学方法(原則、保護者の送迎だが送迎できない場合) ・児童生徒の母国語が多様化した際の通訳の確保(予算面、人材面) ・生徒(中学生)の受け入れ体制 (1日小中学校で学ぶよりも、給食から在籍中学校に戻す、部活動に参加できる等の配慮)
14	知立市	早期適応教室	直営	知立市教育委員会 学校教育課		知立市内小中学校に在籍児童生徒(小1～中3)		ブラジル、フィリピン等	知立市立知立東小学校内	・初期の日本語教育や小中学校の適応指導を行う。 ・通室期間は3か月以内をめどとする。	・指導者の人員確保 ・多国籍化への対応
										ブレスクールと同様の内容で実施	
15	高浜市	くすのき	直営	学校経営グループ		市内小学校に入学を希望している就学児・市内小中学校に転入してきた児童生徒	特になし	ブラジル	高浜市立高浜小学校内くすのき教室・高浜市立翼小学校内くすのき教室	・プレクラス 期間 3か月 内容 学校への適応指導、基本的な日本語指導	ブレスクールと同様の内容で実施
16	岩倉市		直営	学校教育課		学校生活適応指導に参加する外国にルーツをもつ児童生徒、来日直後で日本語が全くできない児童生徒すべて	0人(12月3日時点)	ブラジル、フィリピン等	岩倉市立岩倉東小学校	実施期間:原則1か月(最長2か月) 実施時間:午前中4時間(8:55～12:25) ※午後を在籍校で過ごす場合は、12時で指導を終了する。 実施内容:学校適応(きまり)、ひらがなの読み、日常会話、計算(学年に応じて)	所属校から実施校への登下校は小学生は保護者の送迎、中学生は自転車も可としているが、小学生については困難な場合もある。(保護者が働いているため)
17	豊明市	定住外国人日本語教育推進プレクラス・ブレスクール事業	委託	学校教育課	特定非営利法人 プラス・エデュケート	豊明市立小中学校に在学する児童生徒	33名(29年度実績)	ブラジル、フィリピン、ベトナム	NPO法人 プラス・エデュケート(午前)、双峰小学校(午後)	日本語初期指導が必要な児童生徒を対象に、3か月から6か月の間、ほぼ毎日実施している。午前中はプラス・エデュケートで日本語初期指導を行い、給食の時間からは在籍校に戻り、学校生活にも慣れるようにしている。特別の教育課程に基づいたDLAをほとんどの児童生徒に実施し、子どもの学習段階の把握に努め、会話、聴く活動、自分の意見を述べる活動、文を読んだり作文を書いたりする活動を行っている。 29年度より、日本語指導が必要な児童が多い双峰小学校で、午後にプレクラスを開設した。プラス・エデュケートの職員が双峰小学校に来校し、前述したような日本語初期指導を行っている。	3学期についてはブレスクール事業も並行して実施するので、実施回数が限られてしまう。また、午前中のプレクラスについては保護者の送迎を条件としているため、送迎ができない場合はプレクラスに入級できない問題がある。午後の双峰小学校のプレクラスについては、1日あたりの実施時間が少ないため、入級期間が長期になってしまい、学習できる児童が限られてしまうことが懸念される。
18	みよし市		委託	みよし市教育委員会 学校教育課	特定非営利活動法人 トルシーダ	市内小中学校に在籍している児童生徒	約30名	ブラジル、フィリピン、中国	みよし市教育センター	【実施期間】 平成30年4月2日から平成31年3月29日まで 【実施回数】 200回 【カリキュラム】「特別の教育課程」を編成し、個別の指導計画を作成して実施している。 【主な内容】 ○ひらがな、カタカナ、漢字(小学1年生の内容から順次) ○簡単な読み物の音読 ○学校生活にかかわること。(学校行事、校則、マナー等) ○算数	日本語初期指導を終えた児童生徒が学校で生活し始めるときの接続がうまくいくように配慮している。しかし、学校に戻ってから教科の学習になると、専門用語が出てくことや、授業のスピードについていけず困る児童生徒が出ていることが課題である。